

書籍案内



健康に暮らすための住まいと住まい方 エビデンス集

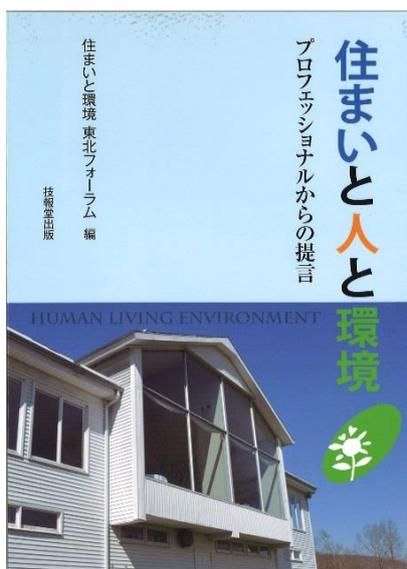
技報堂出版 本体2,800円+税

健康維持増進住宅研究委員会・健康維持増進住宅研究コンソーシアム編著／日本サステナブル建築協会編集協力

(概要)

住宅の室内環境において、どのような要因が健康を阻害する可能性を持つのか、どの程度の環境レベルを維持すべきか、その根拠を科学的知見に基づいたエビデンスとして示す書。各エビデンスは独立した内容となっており、最初の頁の枠の中に健康影響に関する知見や設計・住まい方の指針について簡潔に示し、次頁以降に学術的な情報をつけて解説する。「適切な温熱環境とは」「快適な睡眠環境を実現するために」「清浄な空気環境の実現」「安全・安心な住まいを実現するために」の4つを主軸に健康に暮らすため住宅設計を示す。

出版年月 2013年6月



住まいと人と環境 プロフェッショナルからの提言

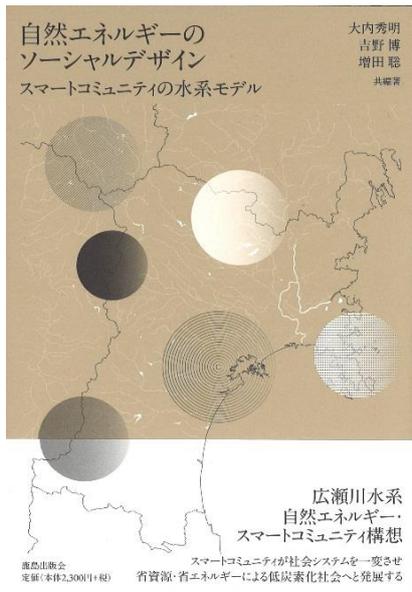
技報堂出版 本体2,300円+税

住まいと環境東北フォーラム編

(概要)

住宅の室内環境において、どのような要因が健康を阻害する可能性を持つのか、どの程度の環境レベルを維持すべきか、その根拠を科学的知見に基づいたエビデンスとして示す書。各エビデンスは独立した内容となっており、最初の頁の枠の中に健康影響に関する知見や設計・住まい方の指針について簡潔に示し、次頁以降に学術的な情報をつけて解説する。「適切な温熱環境とは」「快適な睡眠環境を実現するために」「清浄な空気環境の実現」「安全・安心な住まいを実現するために」の4つを主軸に健康に暮らすため住宅設計を示す。

出版年月 2015年11月



自然エネルギーのソーシャルデザイン スマートコミュニティの水系モデル 鹿島出版会 本体 2,300 円+税

大内秀明、吉野 博、増田 聡／共編著

(概要)

東北震災復興の水系モデル「広瀬川水系自然エネルギー・スマートコミュニティ構想」を事例として、地域自立の問題を提起する読本。

仙台都市圏におけるエネルギーの地産地消型ネットワーク構築をめざした「広瀬川水系自然エネルギー・スマートコミュニティ構想」を事例として、エネルギー浪費社会からの転換、地産エネルギー、地域循環型社会、新しいコミュニティ、暮らし方、住まいの省エネと健康・快適性などについて考える。地域の第三次産業革命（低炭素化経済、情報通信革命）への提言。

出版年月 2018年4月



日本建築学会叢書 4

省エネ住宅とスマートライフでストップ地球温暖化 日本建築学会 本体1,700円+税

(概要)

猛暑の夏、豪雪の冬、桜の開花や紅葉の異変・・・毎年のように異常気象がやってくる・・・地球温暖化の現実をようやく実感し始めているいま、環境に配慮しながら「快適」に住まう工夫をわかりやすく伝える1冊がここに。-「刊行にあたって」より

出版年月 2006年10月